

2022 年度

文京学院大学人間学部

FD 研修会報告書（概要）

2023 年 2 月 22 日

人間学部 FD 委員会

目次

はじめに	2
1. 活動経過と内容	3
2. 委員会議事録・資料（第1回～4回）	4
委員氏名	8

2022 年度 文京学院大学人間学部 FD 研修会報告書(概要)

はじめに

2020 年度の間人学学部 FD 研修会のテーマは、前期「各学科の遠隔授業の取り組みについて－工夫された点、課題－」、後期「今後を見据えたハイブリット型の授業について」とし、各学科の工夫されている点や課題、また、教員視点、学生視点に立った遠隔授業のメリット、デメリットを共有することにより来年度に向けより質の高い教育を提供する一助になること、また、次年度を見据えたより質の高い授業展開を考えることを目的に開催されました。主として座学形式の授業を対象に教育方針を検討してきました。

2021 年度は、前期テーマを「コロナ禍における対面式授業の課題と工夫（特に演習・実習・実験）」とし、演習、実習、実験に焦点を充て質の高い教育を提供するための情報共有、オンライン・ワークショップを実施しました。また、後期は「大学教育で必修化がすすめられるデータサイエンス科目に関する研修会～大学におけるデータサイエンス科目導入と DX その背景と課題～」とし、教育のデジタル化をめぐる政策動向とその背景、義務教育、中等教育における動向、大学教育における動向、大学に何が問われているのかについて、本学教員の報告、並びにグループディスカッションを実施しました。

上記を受け、2022 年度のテーマは、前期を「除籍・退学者を抑制するための取り組み～FD の視点から考える～」とし、教員間で、除籍・退学につながりそうな学生をどう察知しているか、その後（察知後）の対応や課題、退学者を減少させる取り組みやアイデアなどについて議論を展開しています。また、後期は前期のディスカッションを受ける形で「退学につながりそうな学生への対応を考える～教務グループ、学生支援グループの取り組みと教職連携について～」をテーマとし、教職協働の立場から教務グループや学生支援グループのスタッフの「気になる学生、退学につながってしまいそうな学生に対してどのような対応をしているのか」に関する報告の後、職員と教員がどのような連携をとることで退学者減少につながるのかについて、学科横断グループでディスカッションを開催しました。

本報告書（概要）は、教職協働で除籍・退学者を抑制するための対応について話し合われた活動経過と内容をまとめたものであります。

今後も学部 FD を継続していく所存であります。今後とも皆様方のご協力をいただき、より良い学生教育のあり方を模索していきます。今後ともよろしく願いいたします。

人間学部 FD 委員会委員一同

1. 活動経過と内容（毎月2回程度開催のメール審議は省略）

実施日	FD委員会（主な議題）	委員会開催方法
5月20日（金）	第1回人間学部FD委員会 ・委員会の進め方の確認 ・今年度の委員会目標 ・前期FD研修会のテーマ・方法	Teams
6月17日（金）	第2回人間学部FD委員会 ・前期FD研修会のテーマ検討 ・研修会日程の検討 ・研修会の進行確認 ・研修会の役割分担	Teams
7月13日（水）	研修テーマ「除籍・退学者を抑制するための取組み ～FDの視点から考える～」	人間学部前期FD研修会（Teams）
10月17日（月）	第3回人間学部FD委員会 ・前期研修会の振り返り ・委員会の後期目標の確認 ・後期研修会のテーマ検討	Teams
12月1日（木）	第4回人間学部FD委員会 ・人間学部後期FD研修会日程の調整 ・研修会手順の確認 ・役割分担	Teams
1月25日（水）	研修テーマ「退学につながりそうな学生への対応を考える ～教務グループ、学生支援グループの取り組みと教職連携について～」	人間学部後期FD研修会（Teams）
2月2日（木）	2022年度人間学部FD研修会報告書の作成と修正	メール
2月22日（水）	2022年度人間学部FD研修会報告書、ならびに報告書（概要）の完成	メール

2. 委員会議事録・資料（第1回～4回）

第1回 人間学部 FD 委員会 議事録

日時：2022年5月20日（金）

参加者：椛島香代、奈良環、中山智晴

欠席者：小林剛史

【議題】

今年度の活動内容

- (1) 人間学部前期 FD 研修会の内容の検討
- (2) その他

【話し合いの内容】

- (1) 人間学部前期 FD 研修会の内容の検討について

日時：前期最終教授会＋研究科委員会終了後1時間程度（7月13日）

実施方法：Teams によるオンライン研修会

テーマ（案）

- ・退学者を減らすための教育内容の改善
（単位を取得できない学生の特徴と教育内容の改善）

- (2) 6月のFD委員会までの取組み

- 1) 各委員は、次回の学科会議で研修会開催日、Teams 開催、テーマ概要（退学者を減らすための教育改善）を伝える。
- 2) 各学科で上記内容について話し合った結果（既に終了している学科もある）を学科長は6月の学科長懇談会で報告し、その内容から学部長は研修会で話し合うキーワードを選択する。
- 3) 前期人間学部 FD 研修会は、4学科の教員が混在する各グループで上記キーワードを参考に議論してもらう。

- (3) 6月のFD委員会の内容（研修会実施に向けて）

- 1) 上記キーワードを参考に研修会でのグループディスカッションの流れを検討する。
以下は現時点での案である。

- 4学科が混在するグループを Teams 内に作成し、グループディスカッションを実施する。
- 各グループから話し合いの結果を報告していただく。
- グループディスカッションの前に講師（たとえば、退学者を減らすための取組みを実施されている教員）が必要か否か。

その他の内容は特になかった。

以上

第2回 人間学部 FD 委員会 議事録

日時：2022年6月17日（金）2限

場所：Teams

出席者：中山智晴 椛島香代 奈良環

欠席者：小林剛史

【審議事項】

1. 2022年度前期FD研修会 スケジュール

日時：2022年7月13日（水）教授会・研究科委員会終了後 約1時間

実施方法：オンライン研修会（Teams）

テーマ：「除籍・退学者を抑制するための取組み ～FDの視点から考える～」

内容

- (1) 研修会の概要・進行説明（5分）
- (2) 人間学部の除籍・退学者の推移報告（5分）
- (3) 4学科混合4グループに分かれてのグループディスカッション（30分）：司会FD委員
記録者と発表者をグループ内で決める
- (4) 話し合った内容の発表（20分）：各グループ発表者（1GP5分×4GP）
各グループで記録者が記入したWord資料を画面共有し、発表者が発表する。
- (5) アンケートのアナウンス：

2. GWで話し合う内容

- ・除籍・退学につながりそうな学生をどう察知しているか
- ・その後（察知後）の対応や課題

3. 役割分担

- (1) 研修会予約、グループワーク用チャンネル設定、各グループの記録物提出先ファイル
の作成、資料(除籍・退学の理由や推移、他大学の取組み事例)の準備
- (2) 教授会終了後のFD研修会開催時間アナウンス
- (3) 当日の司会進行
- (4) 人間学部の除籍・退学者の推移報告
- (5) forms アンケートの作成、アナウンス
- (6) FD研修会中間報告書の作成

4. グループ分け

5. その他

職員も交えての議論も必要なのではないかとの意見も出たが、日程調整が困難で今回は断念した。

以上

第3回 人間学部 FD 委員会 議事録

日時：2022年10月17日（月）

参加者：中山智晴、椛島香代、小林剛史、奈良環

【議題】

2022年度後期人間学部 FD 研修会の日時、内容等の検討

【話し合いの内容】

(2) 人間学部後期 FD 研修会日程案

開催日程：2023年1月25日（水）13：10～14：10

開催方法：Teams によるオンライン研修会

(2) テーマ（案）

・退学につながりそうな学生への対応

教務グループ、学生支援グループの対応の実際と教職員連携

(3) 内容（案）

教務グループや学生支援グループで、気になる学生、退学につながってしまいそうな学生に対して、どのような対応がされているのか、また、教員への要望等があれば伺った上で、各学科合同のグループに分かれ、退学につながりそうな学生にどのような対応ができるかについてディスカッションする。ディスカッション後の発表は各グループに配置された FD 委員が行う。

教務・学支発表：7～8分

ディスカッション：30～40分

発表：各3分程度

(4) 今後の役割

①教務グループや学生支援グループへの発表可能かどうかの確認

②星野さんへの日程確認と11月教授会での周知

③その他は前回の FD 研修会と同じ役割

次回委員会

グループ分け、各自の役割再確認等

以上

第4回 人間学部 FD 委員会 議事録

日時：2022年12月1日（木）

参加者：中山智晴、椛島香代、小林剛史、奈良環

【議題】

2022年度後期人間学部FD研修会の内容、手順の確認

【話し合いの内容】

(1) 人間学部後期FD研修会日程（決定）

開催日程：2023年1月25日（水）13：10～14：10

開催方法：Teamsによるオンライン研修会

(2) テーマ

退学につながりそうな学生への対応を考える

～教務グループ、学生支援グループの取り組みと教職連携について～

(3) 内容

教務グループや学生支援グループから「気になる学生、退学につながってしま
いそうな学生に対してどのような対応をしているのか」を報告の後、職員と教員
がどのような連携をとることで退学者減少につながるのかについて、学科横断
グループでディスカッションを行い、発表する。

(4) スケジュール

1. 研修会の趣旨・進行説明

2. 学生支援、教務グループの取り組み報告（各8分）

学生支援グループ

教務グループ

※グループディスカッション会場への移動+終了後の全体会への移動アナウンス

※グループ分けとTeamsへの会議設定

※出席者の確認

3. 4学科混合の4グループに分かれてのディスカッション（30分）

4. 全体会場に戻り発表（12分）（グループ発表：4グループ×3分）

5. 終了の挨拶（1分）

6. Forms アンケート記入のアナウンス

以上

委員氏名

コミュニケーション社会学科：中山智晴（委員長）

児童発達学科：椛島香代

人間福祉学科：奈良環

心理学科：小林剛史

以上